

宮原と則岡家のひとびと

～VOLⅡ～

奈良大学文学部文化財歴史学科 島崎 康

【地名の変遷】

①続日本紀 大同1年(806)7月

→在田郡

②続日本後紀 嘉祥1年(848)2月

→在田郡5郷(須佐郷 他4郷)

③紀伊続風土記巻之58 年月日不明

→須佐郷(宮原荘 他3荘)

④紀伊続風土記巻之58 正長年間(1428~1429)

→宮原六箇村(南村・瀧川原村 他4村)

【地名の由来】

此地は古の須佐郷の内なり。宮原は宮崎に対する名なれば、須佐神社の在す地にて広平の地なるを以て宮原というなり。されば宮原此辺の広き呼び名にて村数を限る名にあらず。

然るに正長年間「畠山尾張守持国」此地を領し、岩室山に一城を築きてこれに居る。是より宮原は六箇村の荘名とはなれり。

須佐神社（祭神：須佐之男命）

有田市千田1641



画像：日本の神社・寺院検索サイト八百万の神<https://yaokami.jp/1300145/photo/aro3F6yB/>

発表は以上です、ご静聴ありがとうございました。

島崎 康